

令和元年度 行政評価表

所属部	企画戦略部	所属課	広報広聴課	正職員数	11人	その他職員数	4人	電話番号 (内線)	055-983-2621 (内線2273)
-----	-------	-----	-------	------	-----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	I 安全・安心に暮らせるまち
	基本方針	2 安全な暮らしを確保するまちづくり
	施策名	14 賢い消費者の育成<消費生活>

年度	H28	H29	H30	R01	R02
予算額 (千円)	6,946	8,639	7,526	6,000	
決算額 (千円)	6,618	7,742	5,922	5,702	
決算額の内 繰越明許分	-	-	-		

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。

※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。

※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額

※繰越明許:年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

所管する施策の 方向一覧	I-2-14-(1)消費者保護の充実
	I-2-14-(2)消費者教育の推進
	I-2-14-(3)消費者団体活動への支援

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	R01	R02
消費者相談の認知度	市民意識調査で「消費生活相談を認知している」と答えた人の割合	目標	40%	45%	50%	55%	60%
		実績	51%	48.5%	48%	48.80%	
		進捗状況	順調	順調	順調	遅れ	
消費者教育を受けたことのある人の割合	市民意識調査で「消費者教育を受けたことがある」と答えた人の割合	目標	30%	40%	50%	55%	60%
		実績	26%	29%	16%	13.3%	
		進捗状況	遅れ	遅れ	遅れ	遅れ	
		目標					
		実績					
		進捗状況					
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	I-2-14-(1)消費者保護の充実
-------	--------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	消費生活相談事業と立入検査事業は現状どおり適正処理を継続する。消費者教育推進事業は「三島市消費者教育推進計画」に基づいて実行する。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	消費生活相談業務は寄せられた相談を適正に処理できるよう、相談員を研修に参加させスキルアップを図る。消費生活出前講座開催業務と街頭キャンペーン業務を通して消費者被害未然防止と消費者トラブル相談窓口の周知を図る。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	消費生活相談業務は寄せられた相談を適正に処理できるよう、相談員を研修に参加させスキルアップを図った。消費生活出前講座開催業務と街頭キャンペーン業務を通し、また年4回発行される情報誌をスーパー等に配架し消費者被害未然防止と消費者トラブル相談窓口の周知を図った。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	消費生活相談業務は寄せられた相談を適正に処理できるよう、相談員を研修に参加させスキルアップを図る。消費生活出前講座開催業務と街頭キャンペーン業務を通して消費者被害未然防止と消費者トラブル相談窓口の周知を図る。くらしにかかわる新たな制度や情報を収集し、市民のニーズ合ったテーマを消費生活講座に活用する。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	No.	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
				年度	H28	H29	H30	R01			R02
1 消費生活相談事業	1	消費生活相談	相談件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
				実績	475件	581件	561件	509件			
				達成状況	達成	達成	達成	達成			
2 消費者教育推進事業(施策14-(2)再掲)	1	消費生活講座開催(施策14-(2)再掲)	講座開催数	目標	4回	4回	4回	4回	4回	維持	
				実績	4回	4回	4回	4回			
				達成状況	達成	達成	達成	達成			
	2	消費生活講座開催(施策14-(2)再掲)	受講者数	目標	250人	300人	300人	300人	300人	維持	
				実績	335人	237人	277人	278人			
				達成状況	達成	未達成	未達成	未達成			
	3	消費生活出前講座開催(施策14-(2)再掲)	講座開催数	目標	6回	8回	8回	8回	8回	維持	
				実績	10回	10回	6回	8回			
				達成状況	達成	達成	未達成	達成			
	4	消費生活出前講座開催(施策14-(2)再掲)	受講者数	目標	200人	250人	300人	300人	300人	維持	
				実績	294人	253人	444人	565人			
				達成状況	達成	達成	達成	達成			
	5	街頭キャンペーン(施策14-(2)再掲)	実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持	
				実績	2回	2回	2回	2回			
				達成状況	達成	達成	達成	達成			
3 立入検査事業	1	立入検査	検査店舗数	目標	10店舗	9店舗	6店舗	6店舗	6店舗	維持	
				実績	9店舗	6店舗	6店舗	6店舗			
				達成状況	未達成	未達成	達成	達成			

施策の方向	I-2-14-(2)消費者教育の推進
-------	--------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	消費者教育推進事業は、消費者教育推進計画に基づき、消費生活講座や出前講座等での消費者教育に力を入れていく。消費者連絡協議会活動事業は自主性をもった活動となるよう助言し、会員の資質向上と各団体の活動を支援する。消費者行政活性化事業は補助事業を有効に活用したい。グリーンコンシューマー推進事業は不用品活用バンクに登録のあったものについて適正な処理を行う。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	消費生活講座開催業務は、「三島市消費者教育推進計画」に基づき、受講者が消費生活の知識や判断力を身に付けられる内容の講座を実施する。消費生活出前講座開催業務は出前授業の利用を促し、若年者の消費者教育に力を入れる。啓発資料配布業務は、全中学校の1年生と3年生に消費者教育のリーフレットを配布する。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	継続して中学生を対象とした出前授業を行い、新たに高等学校でも出前講座を行い、若年者の消費者教育に力を入れてきた。消費者連絡協議会事業は、幼稚園や放課後児童クラブで出前講座を実施し会員の資質向上が図られた。不用品活用バンクは登録者が増加し、環境に配慮した取り組みができた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	令和4年度の成年年齢引き下げにより、若者の消費者被害の増加が懸念される。若者が被害に遭わないよう消費者教育の充実を図っていく。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	R01			R02
1 消費者教育推進 事業	1 消費生活講座開催	講座開催数	目標	4回	4回	4回	4回	4回	維持	
			実績	4回	4回	4回	4回			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
	2 消費生活講座開催	受講者数	目標	250人	300人	300人	300人	300人	維持	
			実績	335人	237人	277人	278人			
			達成状況	達成	未達成	未達成	未達成			
	3 消費生活出前講座開 催	講座開催数	目標	6回	6回	6回	6回	6回	維持	
			実績	10回	10回	6回	8回			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
	4 消費生活出前講座開 催	受講者数	目標	200人	250人	300人	350人	400人	維持	
			実績	294人	253人	444人	565人			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
	5 街頭キャンペーン	実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持	
			実績	2回	2回	2回	2回			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
2 消費者連絡協議 会活動事業	1 消費者連絡協議会育 成	事業開催数	目標	28回	28回	25回	25回	25回	維持	
			実績	28回	25回	25回	27回			
			達成状況	達成	未達成	達成	達成			
3 消費者行政活性 化事業	1 啓発資料配布	配布枚数	目標	2,000部	2,000部	2,000部	2,000部	2,000部	維持	
			実績	2,040部	2,110部	2,300部	2,000部			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
4 グリーンコン シューマー推進事 業	1 不用品活用バンク	成立件数	目標	170件	170件	170件	170件	170件	維持	
			実績	193件	179件	189件	240件			
			達成状況	達成	達成	達成	達成			
	2 買物袋持参推進	啓発回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	1回	1回	0回	1回			
			達成状況	達成	達成	未実施	達成			

施策の方向	I-2-14-(3)消費者団体活動への支援
-------	-----------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	消費者連絡協議会活動事業は自主性をもった活動となるよう助言する。また、会員の資質向上と各団体の活動を支援していく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	毎月の理事会や視察等の活動を通して得た知識を幅広く消費者へ広める。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	消費者連絡協議会の活動の発信及び新たな会員の加入の呼びかけを行ってきた。 長年、「純正食品普及活動」の「純正みそ」の実習を、会員だけで行っていたが、6月と2月に広報みしまで参加者を募集し、新たな会員につなげた。 また、夏休みの放課後児童クラブや幼稚園で出前講座に行き、廃棄物対策課と連携し行った。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	引き続き、消費者連絡協議会の活動の発信及び新たな会員の加入の呼びかけを行っていく。毎年2回市と協働で行っている消費者被害防止を呼びかける街頭広報、活動の発表の場として市民すこやかふれあいまつりの参加、出前講座も引き続き行っていく。コンビニでのマイバック持参運動を関係課と連携し取り組んでいく。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

令和元年度 スケジュール表

所属部	企画戦略部	所属課	広報広聴課	正職員数	11人	その他職員数	4人	電話番号 (内線)	055-983-2621 (内線2273)
-----	-------	-----	-------	------	-----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	I 安全・安心に暮らせるまち	施策名	14 賢い消費者の育成<消費生活>
	基本方針	2 安全な暮らしを確保するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
消費生活相談事業	消費生活相談 ←											→	187H	1710H
消費者教育推進事業	消費生活出前講座 ←	街頭啓発		第1回消費生活講座	第2回消費生活講座			第3回消費生活講座	街頭啓発		第4回消費生活講座	→	467H	228H
立ち入り検査事業	←	立入検査準備及び通報があったら立入								集中立ち入り検査 ←		→	93H	
消費者連絡協議会活動事業	理事会 ←	総会	純正食品普及事業(みそ作り)	視察研修	市長との懇談会			純正食品普及事業(みそ作り) 市民すこやかふれあいまつり				→	374H	
消費者行政活性化事業	←		選定・購入			啓発資料配布						→	93H	
グリーンコンシューマー推進事業	不用品活用バンク ←					買物袋持参啓発						→	93H	228H